土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　県営第三上安住宅（仮称）新築工事に伴う地質調査委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　建築 構造物基礎

ボーリング名	R5-8	**調査位置**	広島県広島市安佐南区上安二丁目			**北緯**	34° 28′ 39.8721″
発注機関	広島県土木建築局　営繕課			**調査期間**	2024年　1月 24日 ～ 2024年　1月 26日	**東経**	132° 26′ 31.6074″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 41.82m	**角度**	180° 上下 90° 0°	**方位**	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90°	**使用機種**	**試錐機**	東邦D-1B-58
総削孔長	7.00m								**エンジン**	ヤンマーNFD-12K	**ポンプ**	東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1	40.82	1.00		砂質土		茶				砂は細砂～中砂を主体とし、φ=10mm程度までの亜角礫を含む。	
2	39.82	2.00		花崗岩						花崗岩(DM級) 岩組織は残すが試料は指圧で砂状となる。 白色を呈する斜長石は完全に細粒化する。	01/25 2.54
3											
4				花崗岩		褐灰					
5										花崗岩(DM級 軟岩I) 岩組織は残すが試料は指圧で礫状に崩れる。 深さ方向に風化の程度が弱くなり、N値上昇し、硬質な礫状部が増加する。 白色を呈する斜長石は完全に細粒化する。	
6											
7	34.82	7.00									

標準貫入試験 深度－N値図 (0 10 20 30 40 50)	N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
	45	1.15 1.45	15	15	15	45/300		
	90	2.00 2.20	17	43		60/200	167	
	95	3.10 3.29	21	39 90		60/190	158	
	90	4.05 4.25	19	41		60/200	167	
	113	5.00 5.16	26	34 60		60/160	133	
	257	6.00 6.07	60/70			60/70	58	
	450	7.00 7.04	60/40			60/40	33	

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
1.15 1.45	P1	⊖			1/25
2.00 2.20	P2	⊖			
3.10 3.29	P3	⊖			
4.05 4.25	P4	⊖			
5.00 5.16	P5	⊖			
6.00 6.07	P6	⊖			
7.00 7.04	P7	⊖			1/26